

令和7年度 修善寺東こども園教育・保育活動への評価(園関係者評価)

園目標 「ともだち いっぱい げんきな子」

重点目標 「やってみよう」「かんがえよう」「つたえあおう」

十分達成A
やや不十分C

おおむね達成B
不十分D

保護者の園教育・保育活動点検アンケート及び職員の自己評価実施後、園評価委員4名の方に、園運営全般、子どもの活動の様子、保育者の指導方法や目標の達成度等について貴重なご意見をいただきました。合わせて、今後に向けての助言等もいただきましたので、来年度の教育保育課程編成に活かしていきたいと思っております。
評価は右表のとおりです。

「園評価関係者の皆様からいただいた意見等」

- 保育教諭が子どもの声を拾って、気持ちを汲んで遊びにつなげていることがよい。
- 行事の見直しをして、削減することは悪いことではない。変化をチャンスと考えてよいのではないか。
- 安全面を配慮していることはよいことだが、子どもの直感力の低下が気になる。転ぶことが予測できなくなっている。
- 園だよりや回覧を楽しみにしている。子どものつぶやきが入っていることがよい。
- 評価書が分かりやすく、まとまっていると感じた。
- 夏に教員が参観し、園児理解、環境設定、小学校に活かせることを視点として研修している。来年度以降も教員研修と小学校への接続をしていきたい。
- 小学校、中学校との関わりがあり、良い刺激となっている。今後も続けてほしい。
- 交通教室に参加し、車社会で人との接触がないことを実感した。散歩等で地域や人とのつながりを大切にしてほしい。

「来年度に向けて(今後の改善方策)」

- ・子どもの言葉を否定しない取り組みをふまえ、職員も話しやすい雰囲気をつくっていく。
- ・地域とのつながりを大事にし、園と学校が互いに無理なく交流をしていく。
- ・全職員が子どもの思いに寄り添い、向き合い、熱心に保育活動に取り組んでいることに自信をもち、評価をしていけるようにしていく。

領域	評価項目		評価
重点目標	1	好きな遊びを見つけ、繰り返し取り組めるようにしているか。	A
	2	試したり考えたりしながら、友達と一緒に遊びを楽しめるようにしているか。	A
	3	自分の思いを伝え、人の話を聞こうとするようにしているか。	A
こども園における教育・保育	4	個々の発達や経験差を十分把握、理解し、適切な援助が繰り返し行われているか。	A
	5	個々の生活リズムの違いをふまえ、安心して穏やかな気持ちで過ごせるようにしているか。	A
	6	友達や保育教諭等と一緒に活動する中で遊びが広がったり深まったりするような環境を構成しているか。	A
安全管理・指導	7	緊急時の対応を身に付けられるような経験をさせているか。	A
保健管理・指導	8	日常の健康観察や疾病予防、アレルギー対策や離乳食のための取り組みが行われているか。	A
特別支援	9	個々の状況に応じた支援方法を職員間で共有し、家庭と連携をとりながら、保育・教育にあたっているか。	A
組織運営	10	全職員が組織の一員として経営に参画することを意識し、改善に向けて取り組んでいるか。	A
研修体制	11	伊豆市の目標や園の研修テーマに向けて共通理解をもち、成果と課題を明らかにしながら取り組んでいるか。	A
教育・保育環境の整備	12	定期的に安全点検をし、施設の不備を改善しているか。	B
家庭との連携・協力	13	子どもの成長や生活の様子を具体的に伝え、家庭と連携がとれているか。	A
学校との連携・協力	14	こども園と小学校の継続的な交流をし、相互理解を深めているか。	A
地域との連携・協力	15	地域機関や自然を活かした保育実践が行われているか。	A

<ご意見・苦情について>

園へのご意見・ご要望等はありませんでした。今後何かありましたらお知らせください。